



ようよう 第16号

平成30年7月発行

発行者：  高齢サポート・高野

京都市高野地域包括支援センター
京都市左京区高野蓼原町47番地5

TEL 724-0397

FAX 706-1040

今年4月に職員の異動があり、新しい職員を迎えました。高齢福祉の相談窓口として、気持ちを新たにより一層地域活動を行っていききたいと思います。

日々の相談や活動の中で、今あるサービスや制度以外に何気ない見守りや声掛け、認知症の方への理解といったことが望まれていると、切々と感じています。身近な場所でふらりと立ち寄っておしゃべりが出来たり、健康づくりが出来る等具体的な支え合い体制づくりを、住民の皆様と共に進めていきます。

高野圏域認知症ネット、支え合いミーティングの開催やケアマネジャー支援等を通して、住民の方と専門職が繋がりをもちながら取り組んでいきたいと思ひます。

お困り事、ご心配事があれば、お気軽に包括センターにご相談下さい。

地域づくりに力を貸します、アイデアがあります、という方は是非ご連絡下さい。

どうぞ宜しくお願いいたします。

センター長 京極まき子

職員紹介

- 京極まき子 センター長 看護師
- 矢野唯信 主任介護支援専門員
- 原啓太 社会福祉士
- NEW** 板倉綾子 社会福祉士
- 久松素子 介護支援専門員
- 栗本淳子 介護支援専門員
- 藤本喜代美 事務員

新メンバー



新米社会福祉士ですが、地域住民の方々と共に、高野地域が誰にでも住み易い地域となるよう頑張ります。どうぞ宜しくお願い致します。



高野圏域支え合いミーティング



高野中学校にて

『年を取っても、この地域でこの家で暮らし続けたい』

それって今のままで大丈夫？
その為には、何が必要？
何をどうすれば良いの？？

地域で自分らしく暮らす為に、自分の出来る事、好きな事、興味のある事等を活かして、より良い地域にしていけるように「高野圏域支え合いミーティング」をスタートさせました。小さな力が多くの喜びをつくる初めの一歩になると信じて、今後共邁進致します。ご興味のある方は当センターまでお気軽にご連絡下さい。

高野地域の良い所を書きだしている様子



各グループで出た内容を発表しています。

- ①交通の便が良い
- ②風光明媚
- ③買い物が便利

などなど、様々な意見が出ました。



高野圏域認知症ネット



高野地域包括支援センターが担当している養正、養徳学区は、合わせて高野圏域と呼ばれています。高齢になっても住み続けたい地域を構築する為、まずは65歳以上4人に1人が認知症を発症する、と言われる社会に対応出来るように認知症の取り組み推進を今年度から始めています。圏域内の関係機関を中心に定期的にミーティングを実施し、企画、ワークショップ、勉強会、サロン等実践する取り組みを始めました。認知症に関わる様々な地域の課題を考え解決していくため、関係機関の皆様と一緒に取り組んでいきたいと思ひます。

啓発班



認知症サポートリーダーを中心に編成され、認知症サポーター講座等認知症についての啓発活動を行います。

SOS班



認知症声掛け訓練を通して、認知症への理解を深めてもらう活動を行います。

主任介護支援専門員フォローアップ研修

介護支援専門員をフォローする為、また自らもケアマネジャーとして活動する為、専門職も日々勉強をしています。今年4月に行った勉強会では、介護報酬改定を学び、介護保険法の原理原則も全員で再確認しました。

「個人が尊厳を保持し、自立した日常生活を営むことが出来るよう、必要な保険医療サービス及び福祉サービスに係る給付を行う」
(介護保険法より一部抜粋)



地域交流サロン

支え合い活動の一環として、養徳学区社会福祉協議会主催の地域交流サロンが、上竹屋町の喫茶店「アンチャーリー」と大久保町の喫茶店「フィガロ」にて『おいで～なカフェ（おいdayなcafe）』の愛称で開催されています。



養徳学区にお住いの70歳以上の方（同行者OK）であれば誰でも利用でき、コーヒーやお茶を楽しんだり、ゆっくり過ごしたり、みんなで体操をすることもあります。

年間4回程の開催予定となっています。興味のある方は当センターまでお問い合わせください。

地域と一緒に活動して頂ける方大募集！！

2025年は、団塊の世代が全員75歳以上になります。2040年には、人口の約3分の1が高齢者になると言われています。

国や地方の収入が減り支出が増えることになると、支出を抑えるようになります。老若男女問わず、生活に必要な福祉サービスも受けにくくなる可能性があります。

高齢になれば、誰でも医療や介護が必要になります。お互い支え合い、高齢者を見守る地域は、児童や障害者、現役世代と問わず地域住民みんなに優しい地域となります。

今まで得てこられた沢山の経験や技能・知識を、今度は地域の中で活かしてみませんか？「こんな事があれば助かるのにな」という『あったらいいな』と一緒に作って頂ける方を大募集しています。当センターまでお気軽にご連絡下さい。

<例えば・・・>

- ・ボランティアをしてみたい
 - ・一緒に買い物に行く
 - ・健康体操を身近な場所で続けたい
 - ・話し相手が出る
- などなど

その他やってみたい事、出来る事、こんな事が出来る人がいる、などございましたら、是非当センターに教えて下さい。

